

令和 7 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 15		学校名		県立 土浦特別支援 学校							校長名		森 正貴				
教頭名	寺門 宏美、 那須 幸子、 篠山 正史											事務長名		宮崎 直美				
教職員数	教諭	95	養護 教諭	2	栄養 教諭	1	実習 助手	2	常勤 講師	11	非常勤 講師	5	事務 職員	3	技術 職員等	11	計	130
児童生徒数		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		合計		学級数		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計		
	小学部	11	1	10	5	15	4	11	5	8	5	18	3	73	23	23		
	中学部	18	5	16	6	17	12							51	23	16		
	高等部	15	8	18	7	17	12							50	27	13		
													小計	174	73	52		
													合計	247				

2 目指す学校像

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ◆児童生徒が生き生きと学びあえる学校 | ◆家庭や地域に信頼され、地域と共に歩む学校 |
| ◆健康で安全安心に生活ができるきれいで整った学校 | ◆児童生徒、保護者、教職員が自信と誇りをもてる学校 |

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	・コミュニティ・スクールの導入、学校運営協議会を中心とした学校経営 ・地域の特別支援教育体制の強化（県立特別支援学校地域連携体制構築事業） ・服務規律の確保とコンプライアンス研修の継続実施 ・業務のさらなる効率化	・地域資源の有効活用と持続可能な体制づくり ・センター的機能の役割の整理 ・人権意識の維持と向上 ・学習活動の充実と業務の精選とのバランス
学習指導	・R 7 年度より、3 観点での学習評価を国語と算数（数学）から開始 ・児童生徒の主体的な活動を重視した授業改善の継続 ・特別支援学校就労支援充実事業（研究実践校 2 年目）	・目標設定と評価との関係性 ・児童生徒の意欲を引き出す授業展開 ・社会の変化に対応した作業的な活動

4 中期的目標

- 1 主体的な学びを中心とする授業づくり
- 2 キャリア教育の推進
- 3 地域との連携・協働による学びの充実
- 4 安全安心な学習環境の整備と危機管理体制の強化
- 5 信頼される学校づくりと働き方改革

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
個々の教育的ニーズに応じた魅力ある授業	①適切な実態把握に基づく、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりの推進 ②ＩＣＴ教育の推進と職員研修の充実 ③学習評価の３観点に基づく「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成・活用と、保護者との共通理解及び教育活動の充実 ④外部専門家の有効活用による障害の重度重複化、多様化への対応と専門性の向上
自立と社会参加を目指すキャリア教育の推進	⑤体験的学習の工夫及び人や社会とつながる授業の充実 ⑥ワークキャリア（働く）とライフキャリア（暮らす・楽しむ）の両視点からのキャリア教育の推進 ⑦思いやりや豊かな心の育成を図る学級経営と児童生徒会活動の充実 ⑧生涯スポーツや文化・芸術活動への取組
安全安心な学校づくりとリスクマネジメント強化	⑨人権の尊重といじめや体罰のない学校づくり ⑩防災安全教育、感染症対策、健康教育の推進と安全安心な登下校の体制整備 ⑪諸問題の未然防止策の徹底（チェック体制の強化、事例分析や情報共有及び各種マニュアルの改善等） ⑫専門家や保護者と連携した安全安心な給食と食育の推進
地域に開かれた教育活動とセンター的機能の充実	⑬地域資源の活用による活動の充実 ⑭教育活動等の情報発信（保護者、地域、幼保小中高等） ⑮地域の特別支援教育体制の強化とセンター的機能の向上 ⑯専門家や関係機関との連携を密にした校内支援体制の充実
信頼される学校づくりと働き方改革の推進	⑰服務規律の確保とコンプライアンス意識の向上を図る研修の充実と推進 ⑱明るくきれいで、風通しの良い学校を目指す取組 ⑲ＰＴＡ活動の充実、保護者等との連携推進 ⑳業務の改善と効率化の推進、勤務時間の適正管理